

沼監第 18 号  
平成24年8月13日

沼田町長 金平嘉則様

沼田町監査委員 山木一男

同 渡邊敏昭

### 平成23年度沼田町歳入歳出決算審査意見書

地方自治法第233条第2項の規定によって、平成23年度沼田町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに関係帳簿、証書類を審査した結果、その意見は下記のとおりである。

#### 記

#### 1. 審査の対象

- (1) 平成23年度 沼田町一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成23年度 沼田町養護老人ホーム特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成23年度 沼田町特別養護老人ホーム特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成23年度 沼田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成23年度 沼田町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成23年度 沼田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成23年度 沼田町公共下水道特別会計歳入歳出決算

#### 2. 審査の期間

平成24年7月19日から平成24年8月6日までの10日間

#### 3. 審査の主眼

- (1) 会計記録の正当性及び計数の確認
- (2) 予算執行の適否
- (3) 財産運営の妥当性

以上の点に主眼をおき、関係諸帳簿の審査及び証書類との照合、更に必要に応じ担当課から資料の提出及び説明を求め、既往の監査の結果を参考にしながら審査の適正を期した。

#### 4. 審査の結果

##### (1) 予算と決算の状況

別紙一覧のとおり

##### (2) 決算の適否について

慎重に審査した結果、適正なものとして認める。

##### (3) 審査における意見

平成23年度決算において、一般会計で58,895千円（前年比10,219千円減）特別会計で56,135千円（同、6,811千円増）合計で前年比3,408千円減の1億15,030千円が黒字計上された。加えて基金については、前年比1億93,731千円増の32億69,283千円（備荒込み37億70,537千円）の残高を計上すると共に、公債費前年比4億51,360千円減の36億37,570千円まで縮減している。この形の中で実質公債費比率は前年を1.3ポイント下回る9.0%で、健全化に大きく前進しているところであり、職員各位の努力に敬意を表します。

今後とも、健全財政を維持しつつも、長期的展望に立って町の活性化に資する資金運用と、活力の停滞を招かない財政運営を望みます。

##### ① 厚生病院について

平成18年の医療制度改革によって、診療報酬改定がなされ医療機関は厳しい対応が求められたところです。沼田厚生病院においても平成19年に厚生連と赤字全額補填の協定書が交わされて以来、平成19年分 1億15,174千円、平成20年分 1億91,468千円、21年から療養病床32床が休床により、平成21年分 1億64,815千円、平成22年分 1億57,133千円と減少しつつも、平成23年度分は前年比27,000千円増額の、1億84,893千円の赤字が示されています。

各年度不採算病院として特別交付税を受けていますが、今後はその交付基準が厳しくなり、ベッドの実稼動に合わせた交付率が採用されると大幅な減額が想定され、その場合さらに多額の町実質補填となります。

病院が開設して70年、この間培われた町民の厚生病院に対する信頼は極めて大きいものと思います。この関係を保つためにも厚生病院の経営が改善される事を念願致します。

##### ② 幌新温泉について

幌新温泉は、スコーレセンター（ほたる館）の建設も含め、高額な維持管理費を投入しながら町民の憩いと健康管理、宿泊や観光施設の中心的施設として今日まで機能してきました。

しかしながら近年は利用者減少が続き、特に宿泊利用者の減少は、東日本大震災以後著しいものがあります。自動車学校や化石館とのタイアップ、修学旅行生の獲得など、集客の努力は認めるも、今後更に改善することが必要と考えます。そのためには、温泉を何度も利用していただける魅力ある営業のやり方や、努力する従業員が報われる経営方法など、黒字に向けてあらゆる手法を検討し経営改善されることを望みます。

### ③ 国民健康保険特別会計について

近年、就業者構成の変化から、国民健康保険の被保険者数は増加傾向にあります。

平成20年度、22年度両決算審査意見として、今後の基金の減少、保険税負担の上昇を危惧して特定健診の受診率の向上と、健診の啓蒙をうながしています。

しかしながら、医療費の上昇は進み、更に基金残高は保険税突出時の処理限界83,000千円を残すのみとなり、平成24年度国民健康保険税の見直しを余儀なくされました。

さらに、高度医療の保険適用の拡大は今後とも進むと予測され、患者にとっては良い事ですが、保険者にとっては保険税の増加につながります。

自らの健康管理で病理の早期発見、重篤化防止が重要と考え、特定健診受診の一層の啓蒙で、町民の健康維持と国保会計の安定化を求めます。